

## 0 - 28日齢

- 斉一性よく目標体重を達成
- 良好な育雛管理を通じてヒナの食欲を発達させる
- 十分な給餌給水スペースを確保
- クロップフィルのモニター
- トリの行動をモニター
- 最適な温度、湿度と換気を維持
- 毎週の体重モニターを始める  
14-21日令からCV%を計算するために  
個体測の実施と記録
- 光線管理可能な鶏舎では10日令までに  
10-20ルクスに照度を落とす



骨格、免疫、消化&心臓血管システム  
&羽毛の急速な発育

## 29 - 63日齢

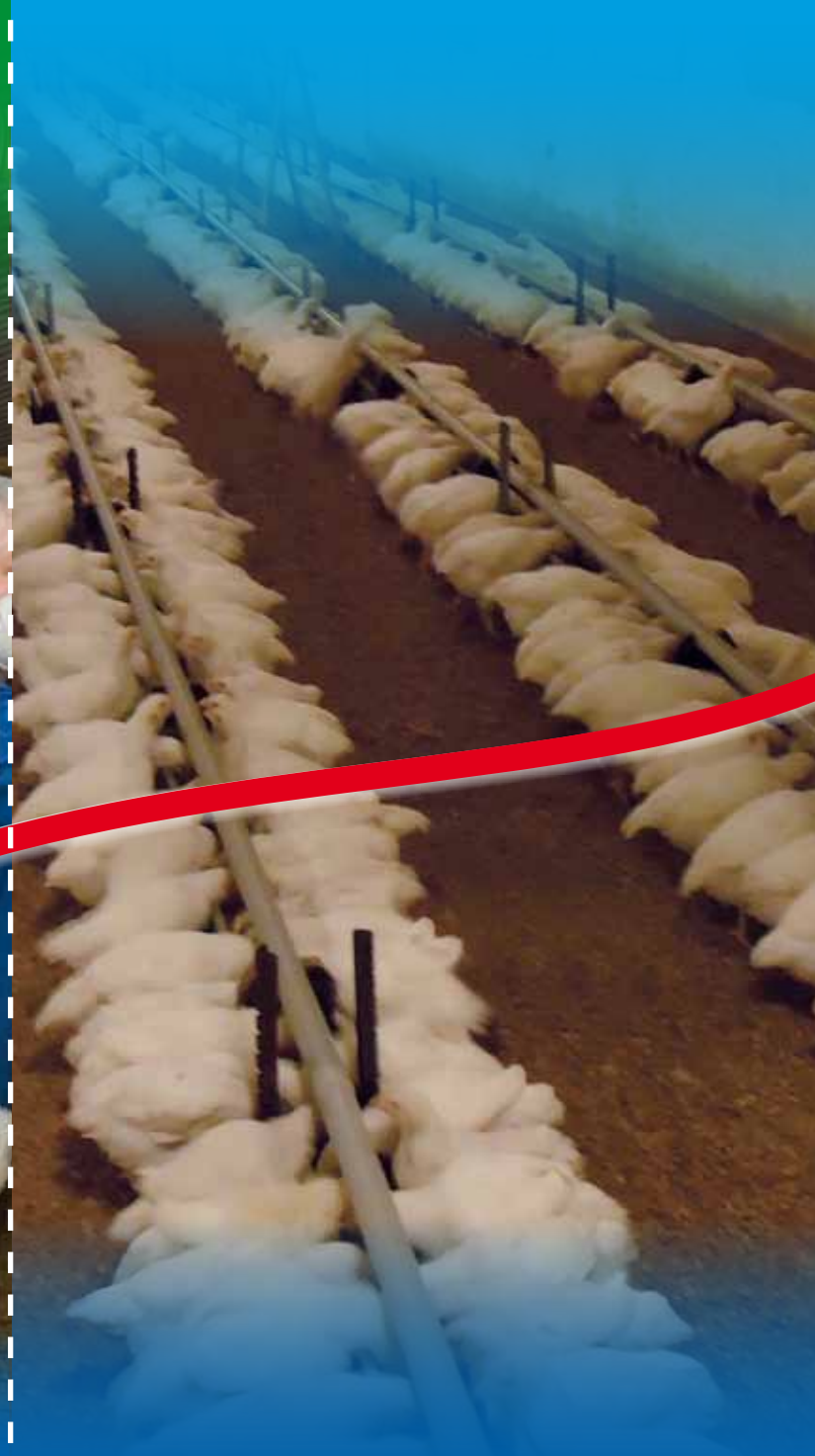
- 斉一性よく目標体重を達成
- 28日令でグレーディング
- CV%が12以下は2区分法、  
12以上は3区分法にグレーディング
- グレーディング後の各群の発育と飼料  
をコントロールする為に63日令までの  
目標体重曲線を引き直す
- 鶏群間でのトリの入れ替えを止める
- 目標に対する63日令の体重によっては  
必要に応じて目標を引き直す



引き続き発育発達する時期

## 64 - 105日齢

- 斉一性よく目標体重を達成する為に  
給餌量を調整:
- 目標体重より軽い鶏群は、105日令で  
目標体重に戻すようなラインを引き直す
- 目標体重より重い鶏群は、目標体重に  
並行に沿ったラインを引き直す
- この期間は体重減少をさせない



80-95日令頃、  
骨格発育の90%以上が完了

## 106 - 161日齢

- 目標体重に沿うように増体を刺激し、  
性成熟の準備をさせる為に餌を増量
- 性成熟をモニターするために  
恥骨の開き具合を毎週調査
- 光線アップ予定の一週間前に鶏群の  
斉一性を調査:
  - もし鶏群が目標体重で揃いが良い(CV%が  
10以下)ならば、光線アップは推奨通り
  - もし鶏群が目標体重より小さく、不揃い  
(CV%が10以上)ならば、光線アップは  
最低でも7日間遅らせる
- 147日令で配雄;  
オスとメスの性成熟が揃っていること
- オスメス別給餌と配餌状況をモニターし、  
採食行動を定期的に調査



配雄と性成熟に向けた加速度的な  
成長と増体

## 162 - 210日齢

- 産卵率と卵重、  
体重を増加させる為のメス給餌
- 成鶏飼料への切り替えは5%産卵  
よりも前に
- 成長と受精率を上げる為のオス給餌
- 肉体的コンディションを確認し  
オス減羽計画に従う:
  - 脚と足
  - 肉付
  - 顔色
  - ベントコンディション
- 遮光可能な鶏舎では日長時間が  
13~14時間を越えない(30~60ルクス)



卵管と卵巣、精巣の急速な発育

性成熟は光線アップの10-14日後  
に始まる